

# 7 気になる今後の町づくり

## モデル事業から

**問** 須恵町は若杉山の麓に広がる大自然、緑が豊かで、その中央を清き水の流れ須恵川、恵まれた環境を活かすに十分な所です。  
しかし、その素晴らしい立地条件を活かすに至っていないのが現状だと思っています。  
自然を活かす町づくりの提案を考えたいと思います。  
若杉山フラワーパーク構想



藤石 豊 議員

と須恵川ウォーキングロード構想のコラボレーションによる活性化プランおよび今を反映するゆるキャラについての考えをお聞かせください。また、これらのプロジェクト会議の設置検討を希望します。

### 答 中嶋町長

若杉山フラワーパーク構想については、他自治体のフラワーパークが、どこも赤字であるため、町費を使っての整備は考えていません。  
町内にはいろいろな団体があり、自然教育林審議会やコミュニティなどの関係者の力を借りながら、出来るだけ町費を使わないで、街路の町並みや空き地に花を植えていただく



景観菜の花

ようなことであれば可能だと思います。  
26年度からモデル事業を行い、町の中が四季折々に花をいっぱい咲かせるような施策を考えています。  
須恵川ウォーキングロード構想については、河川の管理道路が町道に認定されている

箇所があり、通常の生活道となっているため、車を排除してウォーキングロードにするには非常に難しい問題があります。  
ゆるキャラについても、時期が遅いように感じますので、何か別のことを考えた方が良さかと思っています。

## 議 | 長 | 通 | 信

Chairperson Communication



三角 良人 議長

## 育自？

全国では、次のようなモンスターペアレンツの報道がなされています。  
「入学式は満開の桜をバックに写真を撮りたかった、桜が散っているのは学校側の責任だ」「娘の担任が若い男性教師なのでクラスか担任を変えてくれ、ロリコンか変態かもしれない」「プライバシーの侵害と家庭訪問を拒否する親」おかしな親こそ『自分が普通』と思っ

このように親を持つ子どもたちは、どのように育っていくのでしょうか。

子育てとは「育児」であるとともに「親が親になっていく過程」であるとも言えます。「親である大人」とは、社会や他者と健全に関わることができ、自覚を持って生きる人であると考えます。

価値観が多様化している現代において、子育てをやっているには大変困難なところが多いと思いますが、是非、「自分自身も育っている」という大きな気持を持っていただきたいと思います。未来を担う子どもたちのためにも。

## 固定資産評価員を選任

### 大塚 信夫 氏 (会計管理者)

前任の稲永張美氏が、平成26年3月31日をもって辞任のため、その後任として選任され、議会が同意しました。

## 須恵町のホームページで 議会会議録の閲覧ができます。

平成26年3月14日より、須恵町のホームページで本会議の会議録を公開しています。ぜひご活用ください。  
(平成23年以降の会議録を掲載)

URL : <http://www.town.sue.fukuoka.jp/>



ホームページ右端のこのボタンからお進みください。

## シリーズ 議会用語

### 「執行機関」とは？

町の施策や事務を行う権限を持つ機関で、町長をはじめとする各種機関（教育委員会・選挙管理委員会・監査委員など）をいいます。  
これに対して議会は議決機関といわれています。

## お知らせ

町議会の活動状況を知るために、どなたでも傍聴できます。  
申し込みの受付は、当日、役場4階議会事務局で行っています。(予約不要)  
なお、次の定例議会は6月中旬に開会予定です。

## すえち未来ち

つつじまつり  
フォトコンテストの  
賞品に米一俵!



No.24

作・田原ウーコ  
1979年須恵町生まれ。イラストレーターとして福岡を中心に九州・東京の広告やエディトリアルにて活動中。 <http://www.wooco.net/>